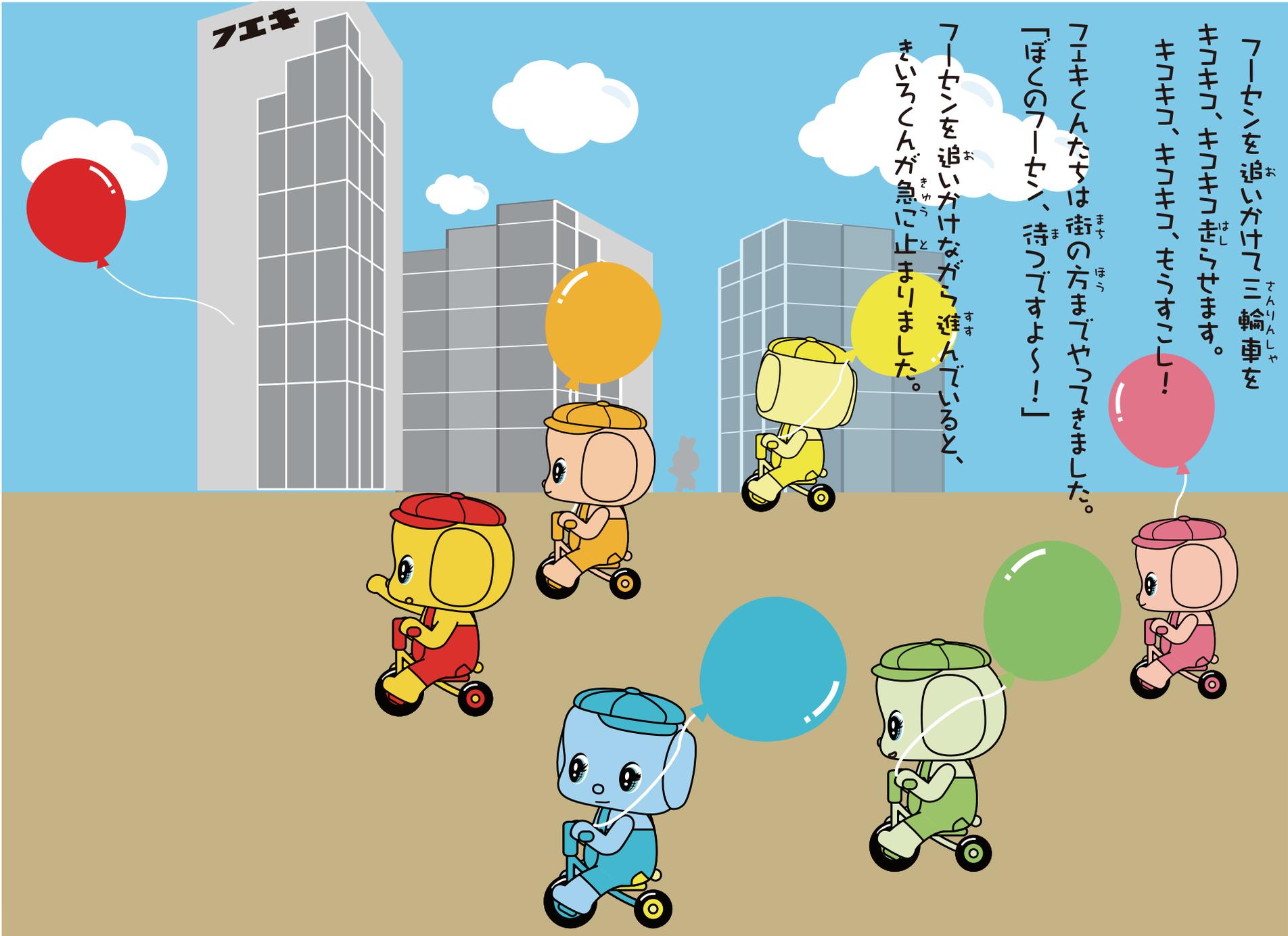


フエキくんのおはなし④



きぶんをかえるまほうですよ!

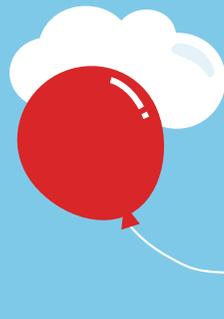
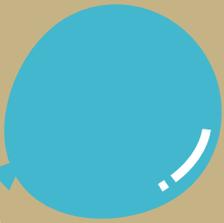


アイキ

フーカンを追いかけて三輪車を  
キョキョ、キョキョ走ります。  
キョキョ、キョキョ、モジモジ...

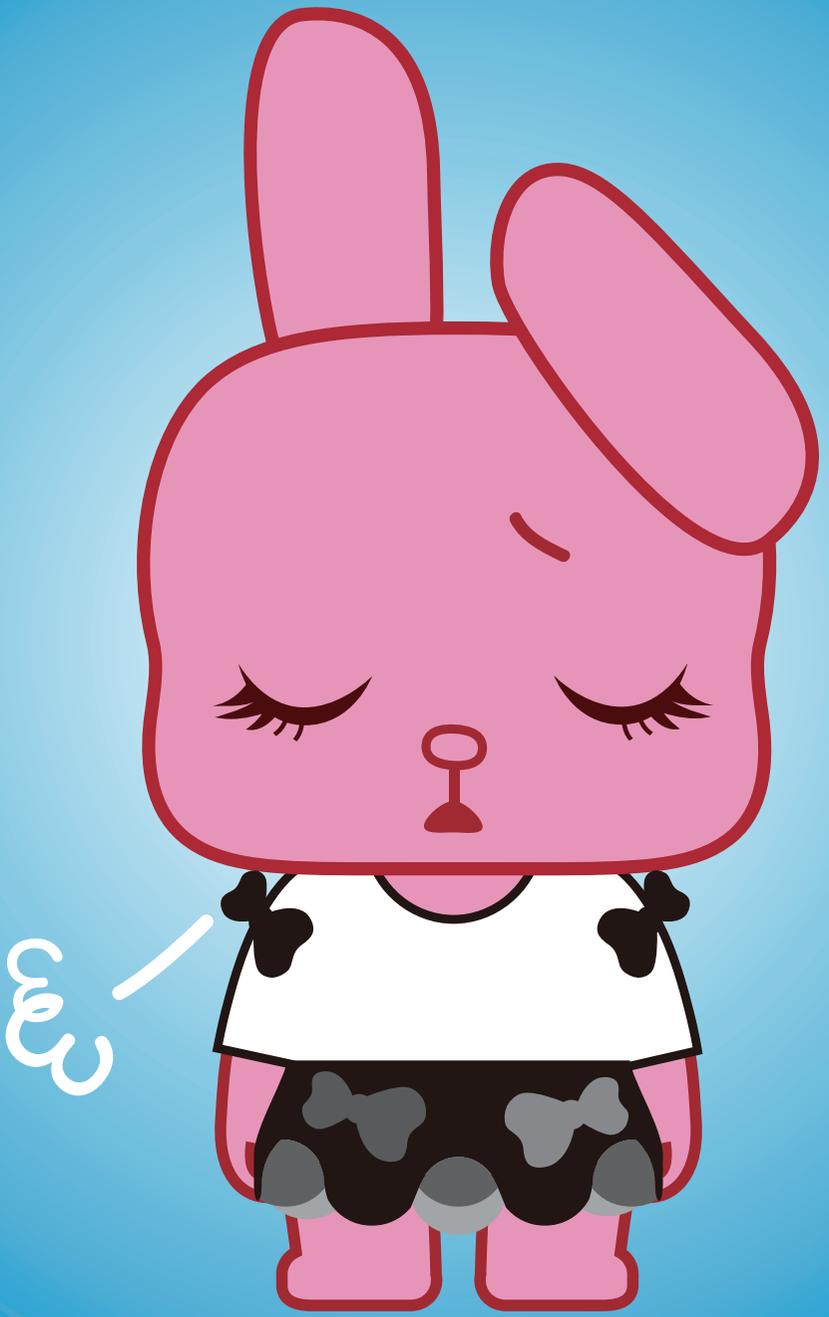
フーカンたちは街の方までやってきました。  
「ほのフーカン、待ってすよー！」

フーカンを追いかけて進んでいると、  
ましろくんが急に止まりました。





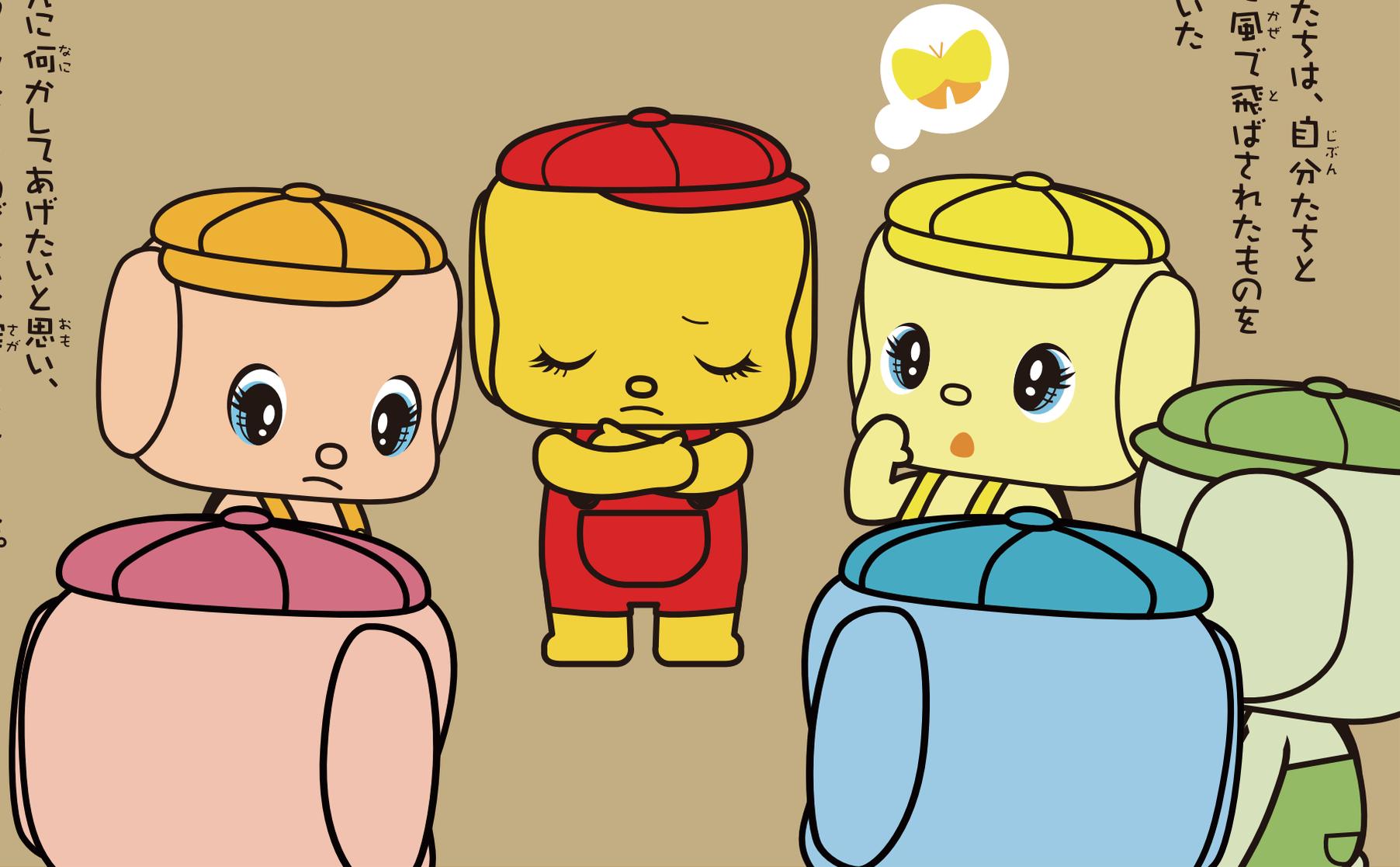
「あーあ、今日はおしゃべりしたい気分だったのにな。」



ウサギちゃんはじまんの長い耳をたたくて残念そうにしています。

フエキくんたちは、自分たちと  
同じように風で飛ばされたものを  
追いかけていた

ウサギちゃんに何かしてあげたいと思い、  
リボンの代わりになるものがないか探してみました。





「そらだーっ」なんでもうですか？」  
「さういふと、オレは、この世の音（ね）が、この世、  
まじまじと一緒（いっしょ）に、リズム、プク、リー、ム、ガ、ブ、マ、マ、した。

ウサギちゃんはリップクリームを受け取ると、さっとさびるに塗ってみました。



ぷっくりうるうる、

かわいいさびるのびきあがり。

「わあーっつてもおしゃれな気分♪

みんなありがとうとグーー」

ウサギちゃんは、ハアッと笑顔になり、  
フエキくんたちをもつられて

笑顔になりました。

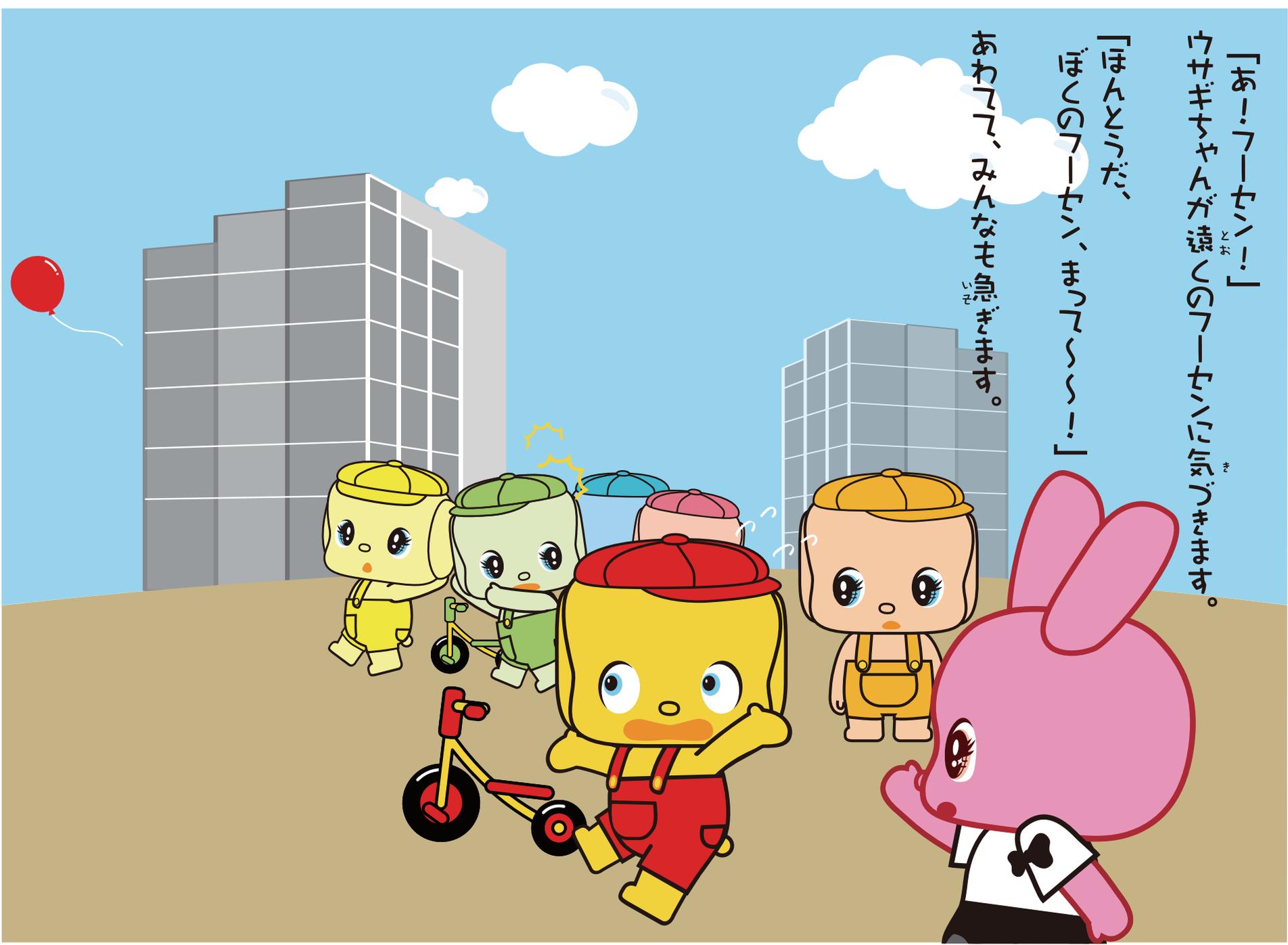


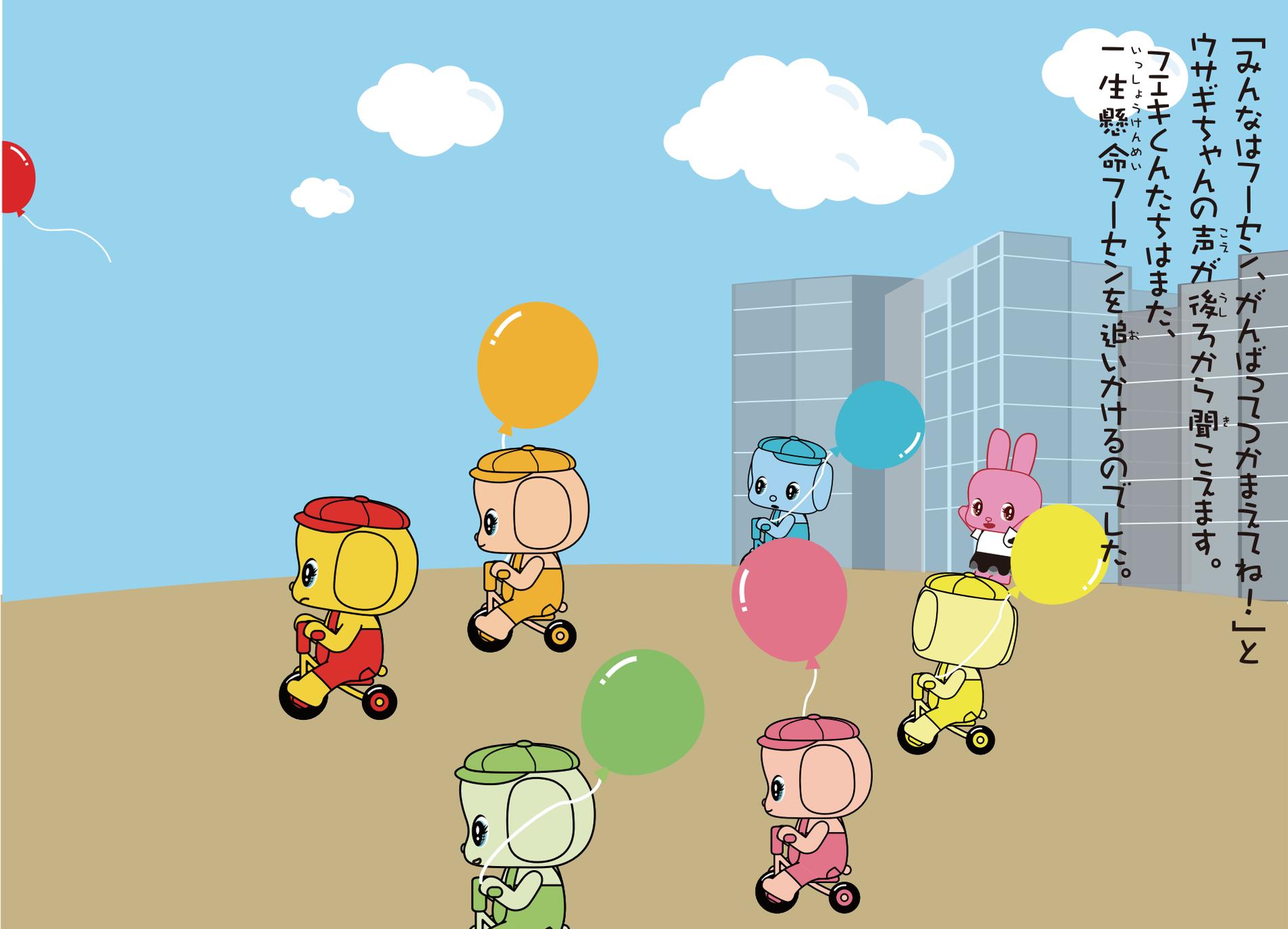
「おーっおーっ」  
ウサギちゃんがかくかくおーっおーっ。

「ほんとうだ、」

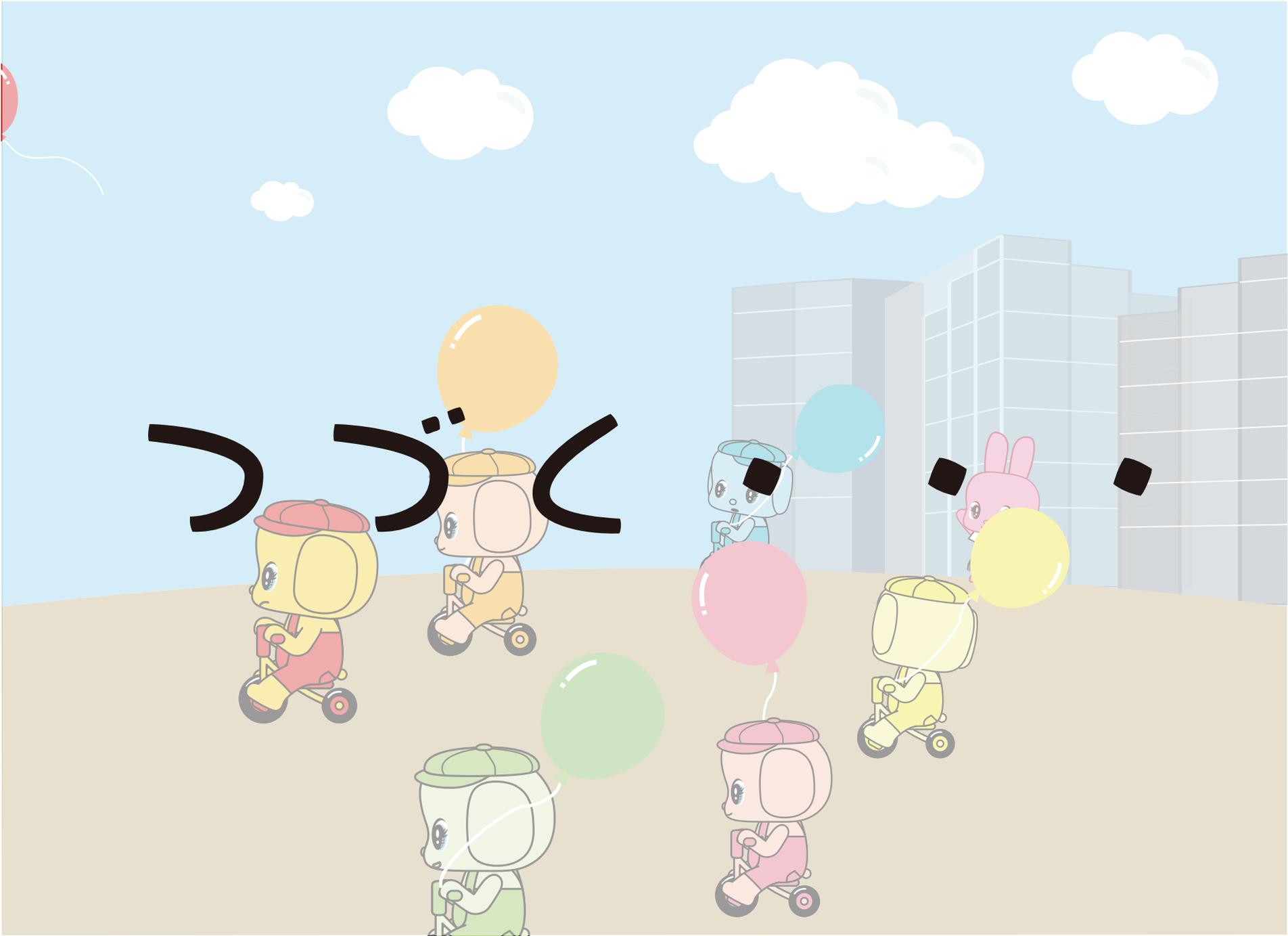
「おーっおーっ、おーっおーっ」

あわてて、みんなも急ぎます。





「みんなはフーセン、がんばってつかまえてね！」と  
ウサギちゃんの声（こゑ）が後ろ（うしろ）から聞（き）こえます。  
フエキくんたちはまた、  
一生懸命（いっしょうけんめい）フーセンを追（お）いかけるのブシだ。



うき